

枕崎市制施行70周年記念事業
第1回枕崎市・稚内市青少年交流派遣事業



8月2日から5日の4日間、「枕崎市・稚内市青少年交流派遣事業」が実施され、本市の各中・高等学校から選ばれた6名の派遣団が稚内市を訪問しました。

稚内市では各地を訪問し、歴史や文化について学んだほか、稚内の産業の一つである昆布干し体験を行いました。また、学校訪問や祭りへの参加をとおして地元の子もたちと交流し、充実した4日間を過ごしました。3・4日に行われた南極祭りでは、枕崎市通商会連合会が出店した枕崎鯉船人めしのブースの手伝いも行い、稚内市の皆さんに枕崎の味をPRしました。生徒たちは、今回の交流事業で、改めて人のつながりのすばらしさを実感しました。

枕崎水産加工業協同組合
再資源化施設が完成



8月1日、仁田浦町に建設中だった枕崎水産加工業協同組合の再資源化施設が完成し、同日、竣工式が行われました。この施設は、節類の製造工程で発生するカツオの頭や内臓などの残さいをDHA原料油や魚粉などに再資源化する施設で、水産庁の「浜の活力再生交付金」を活用し、昨年の7月から工事が開始されました。

竣工式のあいさつで同組合の西村協組合長は「新施設の完成により、将来的には枕崎鯉節のブランド強化を視野に、組合員の経済的・社会的地位を高め、地域経済の活性化に寄与できるよう努力していきます」と話しました。

新ALT紹介
ジョンソン・タイリーさん(31)



アメリカのシカゴ出身のジョンソン・タイリーさんが、本市の新ALTとして7月29日付で着任しました。

枕崎市のことを色々知りたいと話すタイリーさん。今後、小・中学校での授業はもちろん、国際交流の面でも活躍が期待されます。

第28回鹿児島県青少年国際協力体験事業に参加



7月21日から8日間の日程で「第28回鹿児島県青少年国際協力体験事業(派遣国：カンボジア王国)」が実施され、本市から下山千晴さん(川辺高3年)と田中いぶきさん(神村学園高等部1年)が参加しました。

8月8日には市教育委員会に報告に訪れ、人とのつながりを大切にしている村の様子や学校で一生懸命学ぶ子どもたちの様子、食事や言葉の違いなどをとおして異文化を理解する大切さを実感したことなどを話してくれました。

令和元年度枕崎市
総合防災訓練を実施

防災

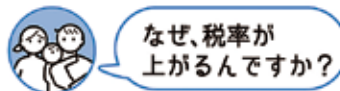
別府地区において大雨による土砂災害を想定し、自衛隊を交えての避難誘導訓練をはじめ、県防災航空隊や消防署と各企業合同による救助・消防訓練を実施します。

日時 9月22日(日) 午前8時50分～
場所 県立鹿児島水産高等学校
内容
・避難訓練及び避難所管理運営訓練
・鹿児島水産高校SPH披露・情報収集訓練
・救助・消防訓練
・防災無線のサイレン吹鳴等
○避難指示・勧告Ⅱ7秒吹鳴3秒休止を3回繰り返す。その後、音声放送をします。

(別府地域のみ)
※訓練に際し、サイレン等を吹鳴します。災害と間違わないようにしてください。
※駐車台数に限りがありますので、なるべく乗り合わせでご来場ください。
■問合せ 総務課危機管理対策係 TEL 72-1111(内線214)

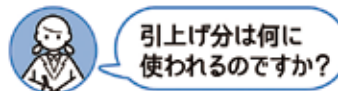
2019年10月1日、消費税・地方消費税の税率は10%へ。

※10%のうち2.2%は地方消費税です。



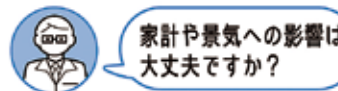
なぜ、税率が上がるんですか？

社会保障制度を次世代に引き継ぎ、みんなが安心できる社会にするため日本では高齢化が進み、社会保障の費用は増えています。みんなが安心できる社会にするためには、安定した財源を確保し、社会保障制度を次世代に引き継ぐとともに、全世代型へ転換していく必要があります。そのためには10%への税率の引き上げが必要です。



引上げ分は何に使われるのですか？

すべての世代を対象とする社会保障のために
引上げ分は、消費税・地方消費税ともに、全世代を対象とする社会保障の充実と安定のために使われます。例えば①待機児童の解消、②3歳から5歳までの幼児教育・保育の無償化、③真に支援が必要な学生の高等教育(大学など)の無償化、④介護職員の処遇改善、⑤所得の低い高齢者の介護保険料の軽減、⑥所得の低い年金受給者への給付金の支給などです。



家計や景気への影響は大丈夫ですか？

家計と景気、両方の観点から対策を実施します
税率引き上げに伴う家計への負担を減らすため、飲食料品(お酒・外食を除く)と新聞(定期購読契約、週2回以上発行)に係る税率を8%に据え置きます(軽減税率制度)。このほか、家計や景気への影響を緩和するための各種対策を実施します。



コミュニティ助成事業

宝くじの助成金で公民館の設備・備品を整備

財団法人自治総合センターが、全国自治宝くじの社会貢献広報事業として行っているコミュニティ助成事業は、宝くじの受託収入を財源に地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健

全な発展と住民福祉の向上に寄与するものです。

本年度、本市では中原公民館及び枕崎市消防本部がそれぞれ助成を受け、備品などの充実を図りました。

◎整備した設備・備品

中原公民館

液晶テレビ、BD・DVDレコーダー、プリンター、会議テーブル、複写機 ほか14品



枕崎市消防本部

成人心肺蘇生トレーニングマネキン 2体
簡易型心肺蘇生トレーニングマネキン 10体



知っていますか、地方消費税 一般に「消費税」と言うのは、消費税(国税)と地方消費税(地方税)を合計したものです。地方消費税収は、地方自治体の貴重な財源として、住民の質の身近な行政に生かされています。

政府広報 消費税

検索

